Cisco Hypershield リリースノート

最終更新：2025 年 4 月 28 日

Hypershield リリースノート

このドキュメントには、Hypershield リリースに関する重要な情報が記載されています。

Hypershield の要件

Hypershield 向け Security Cloud Control

Hypershield が有効になっている Security Cloud Control テナントが必要です。テナントをリクエストするには、https://manage.security.cisco.com/provision を参照してください。テナントの Hypershield を有効にする場合は、シスコの担当者にお問い合わせください。

Tesseract Security Agent

Linux カーネルにインストールされるagent。

表 *1*：サポートされているクラウド サービス プロバイダーとハイパーバイザ

プロバイダー	展開タイプ
Amazon Web Services（AWS）	• Container • Kubernetes クラスタ（近日提供予定）

表 *2*：サポートされている *Linux* ディストリビューション

Linux ディストリビューション	最小 Linux カーネルバージョン
Arch Linux	6.4
CentOS Stream 9	5.14
Debian 11	5.10
Debian 12	6.1
Fedora 38	6.3
Red Hat Enterprise Linux 9	5.14
Ubuntu 22.04 LTS	5.15

Linux ディストリビューション	最小 Linux カーネルバージョン
Ubuntu 20.04 LTS	5.4

表 *3:* サポートされている *Kubernetes* ディストリビューション（近日提供予定）

Kubernetes ディストリビューション	Kubernetes の最小バージョン
Amazon Elastic Kubernetes Service（EKS）	1.23

ネットワークベースのエンフォーサ

- Amazon Web Services（AWS）：仮想マシン

[ライセンス（Licenses）]

「保護ユニット」の数量のサブスクリプションが必要です。各agentとエンフォーサには、次のユニット数が必要です。

表 *4:* アセットあたりの保護ユニット数

アセット	保護ユニット数
Tesseract Security Agent	• スタンドアロン：12 • Kubernetes ノード：36
ネットワークベースのエンフォーサ	36

新機能

2024 年 10 月 31 日の Hypershield の新機能

機能	ネットワークベースのエンフォーサの最小バージョン	Tesseract Security Agent の最小バージョン	説明
プラットフォーム			

機能	ネットワークベースのエンフォーサの最小バージョン	Tesseract Security Agent の最小バージョン	説明
Hypershield 向け Security Cloud Control	—	—	Hypershield のコントロールプレーンと管理プレーンには、Security Cloud Control を介してアクセスします。
Linux 向け Tesseract Security Agent	—	1.3.4	このagentは、extended Berkeley Packet Filter（eBPF）を使用して、カーネルレベルでのワークロードの可視化とワークロードの脆弱性の軽減を実現します。eBPF はオープンソースであり、Linux カーネルにネイティブです。
Amazon Web Services 向けネットワークベースのエンフォーサ	1.1.0	—	ネットワークベースのエンフォーサは、ネットワークセグメンテーションとネットワーク セキュリティポリシーを実現する、透過的なステートフル仮想ファイアウォールです。
Security Policy			
統合されたポリシー	1.1.0	—	Hypershield はすべてのエンフォーサにポリシーを展開します。すべてのポリシーが評価され、順序は関係ありません。ブロックポリシーは、常に許可ポリシーよりも優先されます。デフォルトでは、トラフィックを許可するポリシーを展開しない限り、エンフォーサはすべてのトラフィックをブロックします。
5 タプル（送信元 IP アドレス/ポート番号、宛先 IP アドレス/ポート番号、プロトコル）、VLAN、SGT を使用した手動ポリシー	1.1.0	—	エンフォーサに展開されるポリシーを手動で作成できます。

機能	ネットワークベースのエンフォーサの最小バージョン	Tesseract Security Agent の最小バージョン	説明
確認			
デュアルデータプレーン	1.1.0	—	シャドウデータプレーン。プライマリデータプレーンからのトラフィックのコピーを使用して、ポリシーの変更またはシステムの更新をテストすることができます（意図せずネットワーク障害を引き起こさないことの確認など）。Hypershield は、ポリシーまたは更新を有用な測定値に対してテストし、展開または更新の確実性スコアを提案します。
可視化とガイダンス			
すべてのワークロードの可視化	—	1.3.4	各ノードまたは VM の Tesseract Security Agent は、1 つ以上のワークロード（プロセスまたはアプリケーション）を追跡し続けて Hypershield にテレメトリを送信するため、ネットワーク全体のすべてのワークロードを表示できます。その情報を使用して、必要に応じてエンフォーサのポリシーを作成できます。
Cisco AI Assistant	—	—	AI Assistant は、意思決定についてインテリジェントにガイドおよび通知します。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。